

令和5年2月24日
気象庁地震火山部

配信資料に関するお知らせ

～日本海溝海底地震津波観測網（S-net）のメンテナンスに伴う
緊急地震速報等への影響について（第2報）～

気象庁は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の協力を得て、同研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網（S-net）の観測データを緊急地震速報や津波情報の発表に活用し、情報発表の迅速化を図ってきました。

1月18日の報道発表でお知らせしておりましたとおり、同研究所において、S-netのメンテナンスを1月19日から2月25日にかけての予定で実施していましたが、天候不良の影響により3月中旬頃まで延長することとなりました。これに伴い、メンテナンス予定期間は、当該観測点のデータを緊急地震速報の発表や津波警報の更新等に活用できなくなります。この期間に当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、S-netのデータを活用することにより得られていた緊急地震速報の発表、津波警報の切り替え、津波観測情報の発表の迅速化や精度向上の効果が低減し、緊急地震速報の発表が平常時より最大で約15秒程度遅くなる可能性があります。

なお、津波警報（第1報）や地震情報の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

当該観測点のデータの活用を再開する際には、改めてお知らせします。